

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

帝人株式会社 樹脂事業本部 三原生産部

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町1丁目1番20号

(3) 業種

プラスチック成形材料製造業 (1851)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和6(2024)年度から令和12(2030)年度までの7年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
エネルギー 起源CO ₂	14,286	7,780 45.5	7,111 50.2				
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	14,286	7,780 45.5	7,111 50.2				
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	蒸気ボイラの燃費改善、圧空漏れ修理の推進などエネルギー使用量の削減を進めた結果、目標年度を上回る削減効果が発現した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	・ 対前年度比0.5%削減	・ 高効率照明器具への更新 ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 高性能インバーター機器への更新 ・ 休憩時間の消灯の徹底 ・ 電熱ヒーター待機時の温度設定 ・ 受電変圧器容量最適化 ・ 圧空漏れ修理の推進による使用量削減
2	燃料消費量の削減	・ 対前年度比11%削減	・ 蒸気発生ボイラ燃費改善 ・ 成型工場生産停止期間の蒸気削減
3	非化石エネルギーへの転換	・ CO2排出量を対前年度比20%削減	・ 自家消費太陽光発電設備（PPA）事業者からの買電を計画検討
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。